

雪上でスポーツを楽しむ

「TADAMIスノースポーツフェスティバル2022」開催

只見町の豪雪を利活用する「TADAMIスノースポーツフェスティバル2022」が、3月27日に亀岡サンドバレーコート特設会場で開催され、雪上バレーボールや雪上フットサルなどが行われました。

当日は、町内外の子どもから大人まで約150人が参加しました。また、宮城県蔵王町でも冬のスポーツとして雪上バレーボールを広める計画をしており、蔵王町スポーツ振興課の方が視察のため会場を訪れました。

参加された皆さんは、「雪の上での競技は、動くのが難しいですが、普段と一味違って楽しかったです」と話しました。



▲雪上バレーボールは町外チームも参加しました

自分の身を守るため

「交通安全教室」開催



▲歩行者シミュレーターで安全確認の仕方を確かめました

南会津警察署は、只見グランドゴルフ愛好会の方を対象とした「交通安全教室」を4月13日に開催しました。

初めに交通安全に関する講話が行われ、「夜間に外出する際は明るい色の帽子や反射材を身につけること」など事故を防止するために必要なことを再確認しました。

講話後、歩行者シミュレーターを使い、道路横断の際に注意することを様々な場面（時間帯別や道路状況別）で体験しました。

参加者の方は「道路横断の際は、両側から車が来ないことをしっかりと確認し、安全が確認できてから渡るよう心掛けたい」と話しました。

100歳おめでとうございます

皆川哲夫さんに「知事賀寿」贈呈

3月26日に満100歳を迎えられた皆川哲夫さん（只見）の知事賀寿の伝達が皆川さんのご自宅で行われ、福島県知事賀寿状や会津塗りの木杯などが贈られました。

皆川さんは「長寿の秘訣は、暴飲暴食をせず規則正しい生活することや体に優しい自然食品を食べること。何事も無理せずに穏やかに過ごすことにしている」と話しました。

これからも長生きしてくださいね。



▲満100歳、おめでとうございます

伝統芸能を学び、継承する

明和小学校「伝統芸能発表会」

明和地区に伝わる伝統芸能の練習や発表を通じて、地域との交流や文化の継承、「只見愛を育む教育」の実現を目的とした明和小学校の「伝統芸能発表会」が3月17日に行われ、地域や保護者の方が参観に訪れました。

発表会では、「大倉八木節」（1、2年生）、「小林早乙女踊り」（3年生）、「梁取神楽」（4年生）が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

発表会終了後には、練習や着付けなどでお世話になった地域の方々に感謝状とメダルが贈られました。



▲ 1、2年生が真剣な表情で演じた「大倉八木節」 ▲ オオトリを飾った3年生の「小林早乙女踊り」 ▲ 4年生が元気に披露した「梁取神楽」



▲ 4月1日より人権擁護委員に委嘱された渡部早苗さん

地域住民の人権を守る

人権擁護委員に渡部早苗さん

渡部早苗さん（小川）が、令和4年4月1日付けにて法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、人権相談会開催や人権に関する啓発活動を行うなど日々の問題解決に向けて取り組む民間のボランティアです。

今後は只見町担当として、角田行雄さん（小林）、鈴木美穂さん（只見）と一緒に活動されます。

書家・五十嵐天宗さんから只見高校へ

書「闘志」を寄贈

会津若松市の書家・五十嵐天宗さんは、4月8日に只見高校を訪問し、自身の書「闘志」を寄贈しました。

五十嵐さんは「只見ナインの戦う姿に感動しました。自分に何かできることはないかと思い、またこれからも只見高校が羽ばたけるようにとの思いから書かせてもらいました」と話しました。

寄贈を受けた只見高校の伊藤校長は「奮い立つものが感じられます。大切に飾っていきます」と話しました。



▲ 書を寄贈した五十嵐さん（左）、目黒後援会長（中）、伊藤校長（右）
（写真提供：福島民報社）